

Rotary



世界に希望を生み出そう

CREATE HOPE in the WORLD



国際ロータリー 第2550地区

宇都宮東ロータリークラブ会報

<http://www.ri2550uerc.gr.jp/>

会 長 石川 元信

幹 事 谷田部 修

会報・雑誌委員長 田崎 信孝

例会場 宇都宮市大通り2-4-6 ホテルニューイタヤ

例会日 毎週火曜日(12:30~)

事務局 ホテルニューイタヤ内 宇都宮東ロータリークラブ TEL.028-638-5125 FAX:5128

通算3018号 2023年10月10日(晴れ) 第14回例会 会員数106名

## ハイブリッド例会

点 鐘 石川(元) 会長  
司 会 副SAA 杉本会員

◇ロータリーソング「奉仕の理想」

◇本日のランチ チキンカレー サラダ

ビジター紹介 小林(正) 副会長  
◇卓話講師 宇都宮市長 佐藤栄一様(名誉会員)  
随行 秘書課 星 貴様

会長挨拶 石川(元) 会長

皆様、こんにちは。本日は、佐藤宇都宮市長より、市政についてお話をいただけるということで。お忙しいところお越しいただきまして、誠にありがとうございます。

さて、今月10月は、神無月と申します。神様がこちらの方にはいらっしゃらないということですが、出雲の方では、神在月と申しまして、神様が集まってきます。出雲の国のご利益という、よく「男女の縁を結ぶ」ということが言われております。大国主命が、須佐之男命の娘の須勢理毘賣といろいろな苦勞をしてやっと奥様になったという話等があり、大国主命は縁結びの神様ということ。そこに全国の神様が集まって、誰と誰を結ぶか考えて、縁を結ぶんだそうです。今は通信が発達しまして、ズーム、リモートなどで会議が出来ますが、やはり対面で会うということが非常に大事であると思っております。先日、三井ガバナースも、「それぞれ委員会を開いてください。趣味の会を活発にしてください。対面で、触れ合いながら話をさせていただきたい。」ということをおっしゃられました。痛切に感じます。コロナ前に戻す、ということでやっておりますが、理事の方も3~4年間、いろいろな行事がご

ざいませんでしたので、行き届かないところが多くあります。当クラブは先輩方が沢山いらっしゃいますので、「昔はこうだった。こんなふうにしたんだ。」ということがあれば、理事、または私に、遠慮なくご意見をいただければと思います。改めて良いところは取り入れながら、さらに進化させていきたいと思っております。Face to Face、それぞれ顔を見て、楽しい会にしていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。



幹事報告 谷田部(修) 幹事

◇本日18時30分~ ホテルニューイタヤにて  
石川年度第4回定例理事会開催。

◇2550地区より2024-25年度地区委員の候補者の推薦の案内あり。

◇秋田豪雨災害義援金の報告 4IRCと5RACとの合計で1,450,000円、当クラブからは募金箱とスマイルを合わせて5万円の寄付。

◇10月21日(土)、ポリオデーの募金活動が行われます。宇都宮東RCは東武デパート、オリオン通り出口付近で活動します。応援と募金をお願いします。

◇レターBOXに地区大会ちらし配布。



委員会報告

◇出席委員会 片山副委員長

&lt;皆出席表彰・9月分&gt;

通算32年 高野 藤房会員

通算26年 福田 治雄会員

通算23年 加藤 勝朗会員

通算18年 五味 秀幸会員

連続13年 齋藤 秀明会員

連続13年 手塚 正智会員

連続10年 山崎 盛美会員



卓 話

「市政について」



宇都宮市長 佐藤栄一様（名誉会員）

皆様、こんにちは。今日は市政についてお話しさせていただきますと思います。

—資料とパワーポイントにて説明—

資料には「HELLO NEW CITY」と書いてありますが、駅東側の開発事業があり、隈研吾さんに総合プロデュースを行っていただきました。次の世代のためのまちづくり、次の世代のことまで考えたまちをつくっていこうということで、「HELLO NEW CITY」とさせていただきます。

宇都宮市では、「宇都宮学」というのを学校の副教材といたしまして、小学校、中学校で行っています。宇都宮の過去の歴史、今の現状、これからの宇都宮をどう作っていくか、だいたい3つの構成になっています。その中で、歴史であります。宇都宮市は二荒山神社を中心に栄えてきました。二荒山神社の守護職、その後宇都宮城が出来て、城主となったのが、宇都宮家の皆さんですが、藤原宗円から宇都宮氏を名乗るのは3代目からでした。

※歴代の宇都宮城主について説明

子供たちに宇都宮の歴史を知ってもらい、自分たちの自信にも繋げてもらいたいと思い、宇都宮学を勧めています。

宇都宮の現代ですが、物価高騰が続いていますので、総額約30億円の予算をつくりまして、総合的な経済対策をおこなっています。低所得者に対する給付金の支給、全家庭に水道料金の基本料金の免除（7・8月請求分を免除）を行いました。また、福祉・医療分野ということで、原油等物価高騰対策と致しまして、様々な支援策を行いました。交通・物流への支援、特に貨物自動車ですが、2024年問題ですが、配送自体が出来なくなってしまうのではないかとということもあり、燃料費の支援をタクシー会社も含めて行いましたが、代行業者に対しても行いました。宇都宮が全国ではじめてだと思います。

また、外から宇都宮市に来ていただく人口を増やしていかなければなりません。観光客の入込数

については、宇都宮市はおかげさまで伸びておりますが、栃木県全体で対応して盛り上げていくことが観光には必要です。泊まらないで帰ってしまう人がいます。県内一丸となって、宿泊者数、長期滞在者を増やすことが、総合的な景気対策になってまいります。大谷を一つの観光地にして、ここにお客様を呼び込むため、市、行政が大谷に力を入れております。年間58万人（令和4年度入込客数）でしたが、78万人まで増えました。今、大谷コネクトというビジターセンターを作り、今年11月20日にオープン予定です。また、「旧大谷公会堂」を移設し、利用していただけるようなものを作ってまいります。表は観光・レジャー等における宇都宮市のイメージですが、なんといっても餃子で、次がカクテル、ジャズといった状況ですが、カクテル、ジャズ、プロスポーツ等が、餃子ほどでなくても半分くらいまでいくと、観光客入込客数も増えていくのではないかと思います。

これからの課題は、少子化による人口減少です。世界の人口は、昨年データでは80億人、2050年には97億人、2100年には103億人になりますが、日本の人口は減り続けていきます。宇都宮市の人口も、今は約52万人ですが、何もしなければ、2050年には約42万人に減ってしまいます。これをなんとか47万人でとどめていこうということで、結婚や子育ての環境をよくするとともに、他から人を呼び込む取り組みを行っています。東京23区からの移住に100万円（子ども一人あたり100万円加算）の補助や、フレッシュマン・若年夫婦・子育て世帯等に家賃の一部を補助する施策も行っていきます。総合的な移住の相談窓口をウツノミヤテラス3階に開設致しました。今年から、東京圏通勤・通学の支援も始めました。また、大通りの明治安田生命ビルの中にとちぎ結婚支援センターを、県と一緒に作りました。他に、マイホーム取得支援も行っていきます。その結果、宇都宮市の評価ですが、CHINTAIユーザーというのが選んだ「住みたい街ランキング」で第4位でした。「共働きしやすい街ランキング」では第5位ですが、ベスト10はほとんど遜色ないほど、子育て支援に力を入れています。

人口減少の中で、少ない人口でも支えやすい都市の構造に変えていかなければなりません。目指すは「スーパースマートシティ」というまちです。ネットワーク型コンパクトシティが土台になります。病院、スーパー、銀行等、日常生活に必要なものが揃っているコンパクトな拠点を作り、それを公共交通で結んでいきます。自分の意志で自分の力で誰もが自由に移動できるというまちを早く作らないと、次の世代への負担が増えてしまいます。支えやすい社会を作っていくためにも、公共

交通を土台にしたスーパースマートシティを作っ  
ていきたいと考えています。ネットワーク型コン  
パクトシティを基盤とし、「地域共生社会」「地域  
経済循環社会」「脱酸素社会」この3つが大きな  
柱となって、これを人やデジタルの力でどんど  
ん成長させていく、こういうまちに住むことによ  
って、自然と市民の皆さんがSDGsの17の目標を  
達成できる、そういうまちが宇都宮の目指すス  
ーパースマートシティです。このまちづくりが、全  
国のモデル都市となっているところでございま  
す。

宇都宮駅東口ですが、「ライトキューブ宇都宮」  
(コンベンションホール)の利用状況は、昨年11  
月にオープンし、一年を通してほぼ使用されて  
いる状況です。大ホール、中ホールの他に、分科  
会などをする大会議室、小会議室が必要です。こ  
れらを作ったところ、これだけ利用者数が増え  
たということです。後はいかに、この方々に長期  
滞在をしていただく、できれば宇都宮を拠点に日  
光や那須等に行く、拠点づくりをしていかな  
ければならないと考えています。駅東側の商業  
地の地価は約4%増、住宅地の地価8%増、人  
口は7%

増えています。ライトラインの利用者数は、平  
日は約12,000人～13,000人、休日は約15,000  
人～16,000人、9月の利用者は約40万人で  
した。LRTは、「スーパースマートシティ」そ  
して「ネットワーク型コンパクトシティ」の公  
共交通の充実のために作らせていただきました。  
こういうものをさらに作っていくとともに、  
駅西口についても一体的な再開発を進めてい  
かなければならないと思っています。地元の方  
々にも集まっていたいて、勉強会もスタート  
しました。

「ジャパンカップサイクルロードレース」が  
今週あります。観光客をどんどん誘致して進  
めたいと思っています。2020年、虎ノ門に  
「宇都宮サテライトオフィス」を作りました。  
そこで企業へのPR等を行っています。最後  
に、TVで放映している宇都宮のCMを見てい  
ただいて終わりにしたいと思います。

— 宇都宮市のCM鑑賞 —

※2023年2月14日第30回会報もご参照ください。